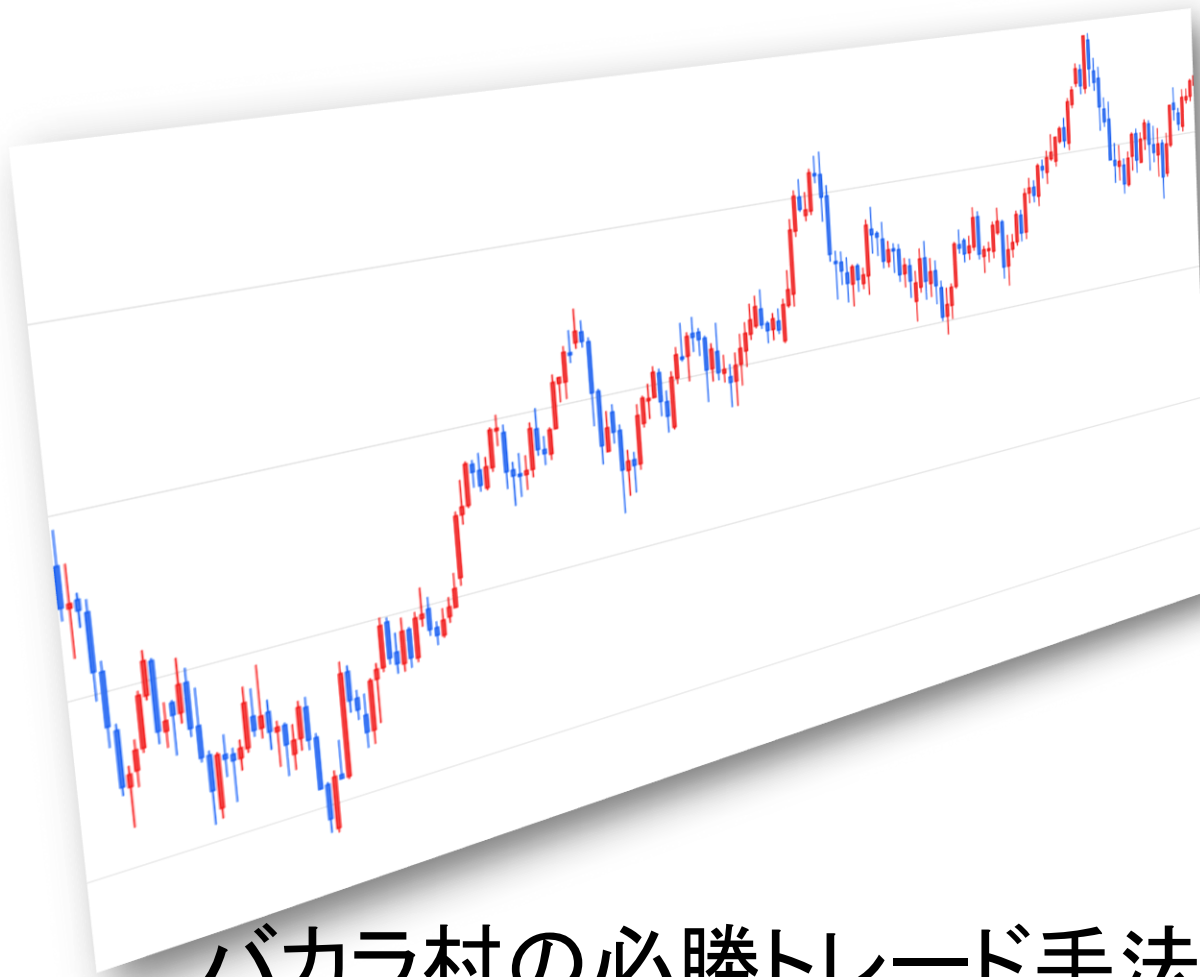




バカラ村の必勝トレード手法を伝授！

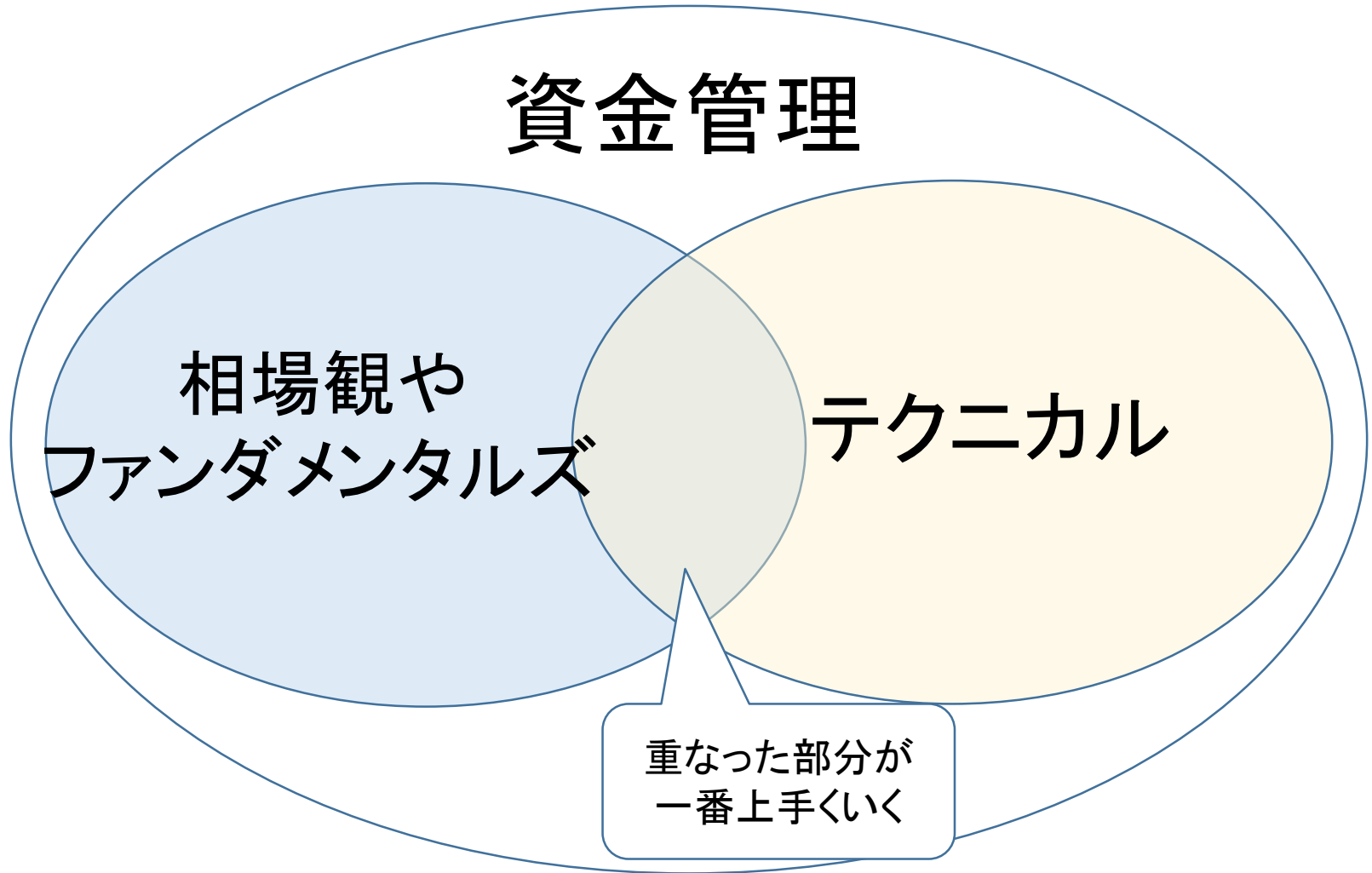
バカラ村

2019年1月12日

セミナー内容

- エントリーするまでのプロセス
- ファンダメンタルズ
- ドル円の季節性
- IMMポジション
- テクニカル(基本)

トレードの考え方



裁量トレーダー

- エントリーのタイミングなどは決まり切った方法ではなく、総合的(ファンダメンタルズや複数のテクニカル分析)に判断



ファンダメンタルズ

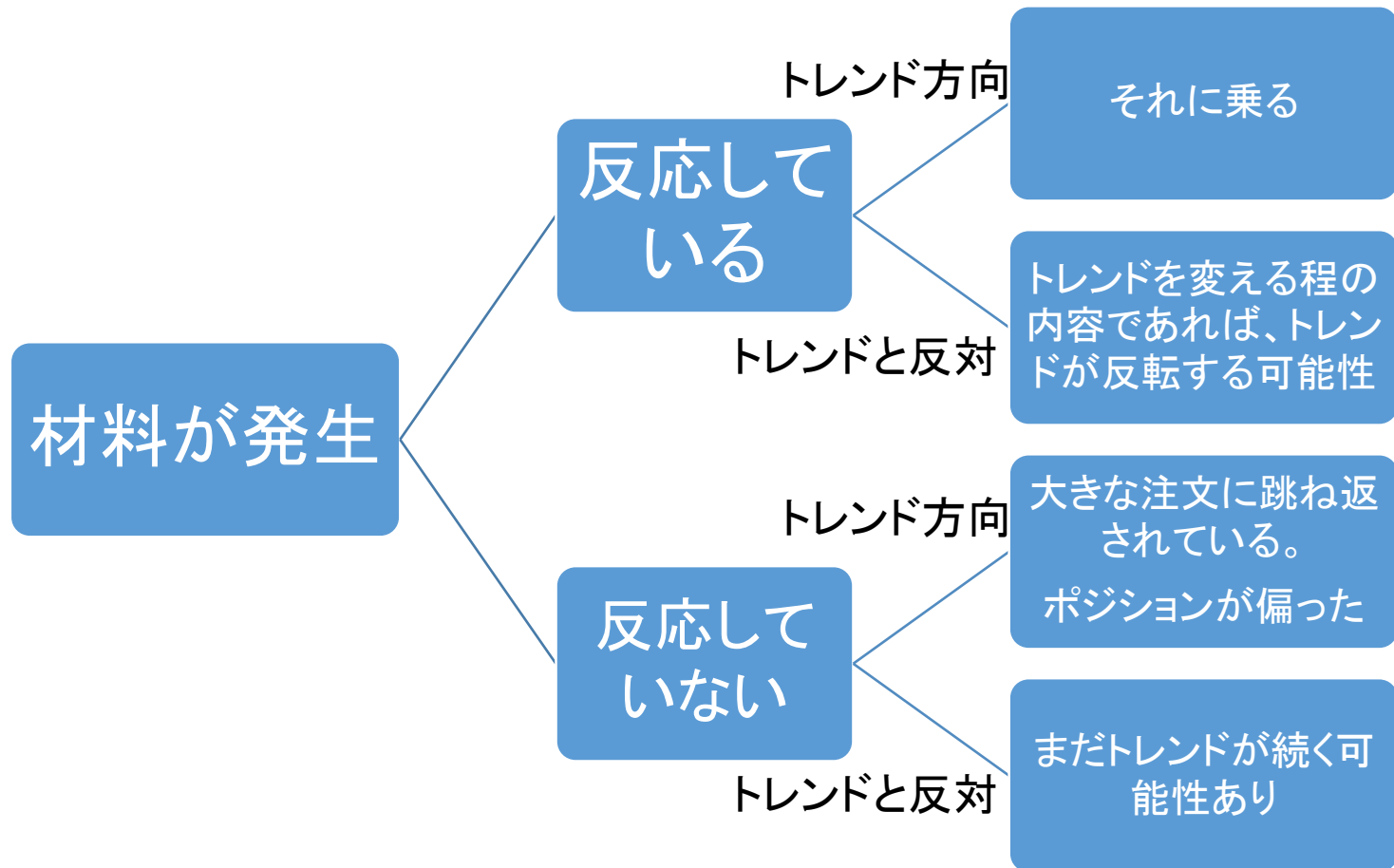
ファンダメンタルズ

- 価格は、「金融政策」・「経済成長」・「金利」・「インフレ」・「市場参加者の思惑」・「政治リスク」などで動く
- 材料とされないときもあるため、市場参加者が何に注目しているのかを探る
 - ⇒景気が良くても、売られることがあり、金利が低くても買われることもある。
- ファンダメンタルズ分析は、日々の積み重ねが必要

情報ソース

- ロイター
 - ブルームバーグ
 - 日経電子版
 - FX wave などなど
-
- Twitter ← 非常に早く情報収集できる

価格は材料に反応しているか



継続する材料か否か

- 材料が出て、そのときに価格が動くが、それが継続されるような材料かどうかを判断
 - ⇒ 北朝鮮がミサイルを発射したときはドル円は下がるが、継続はしない ⇒ 保有しているポジションを手仕舞いする動きは出てくるが、円を買い進めるという行動につながる材料では無い

材料とドル円の動き



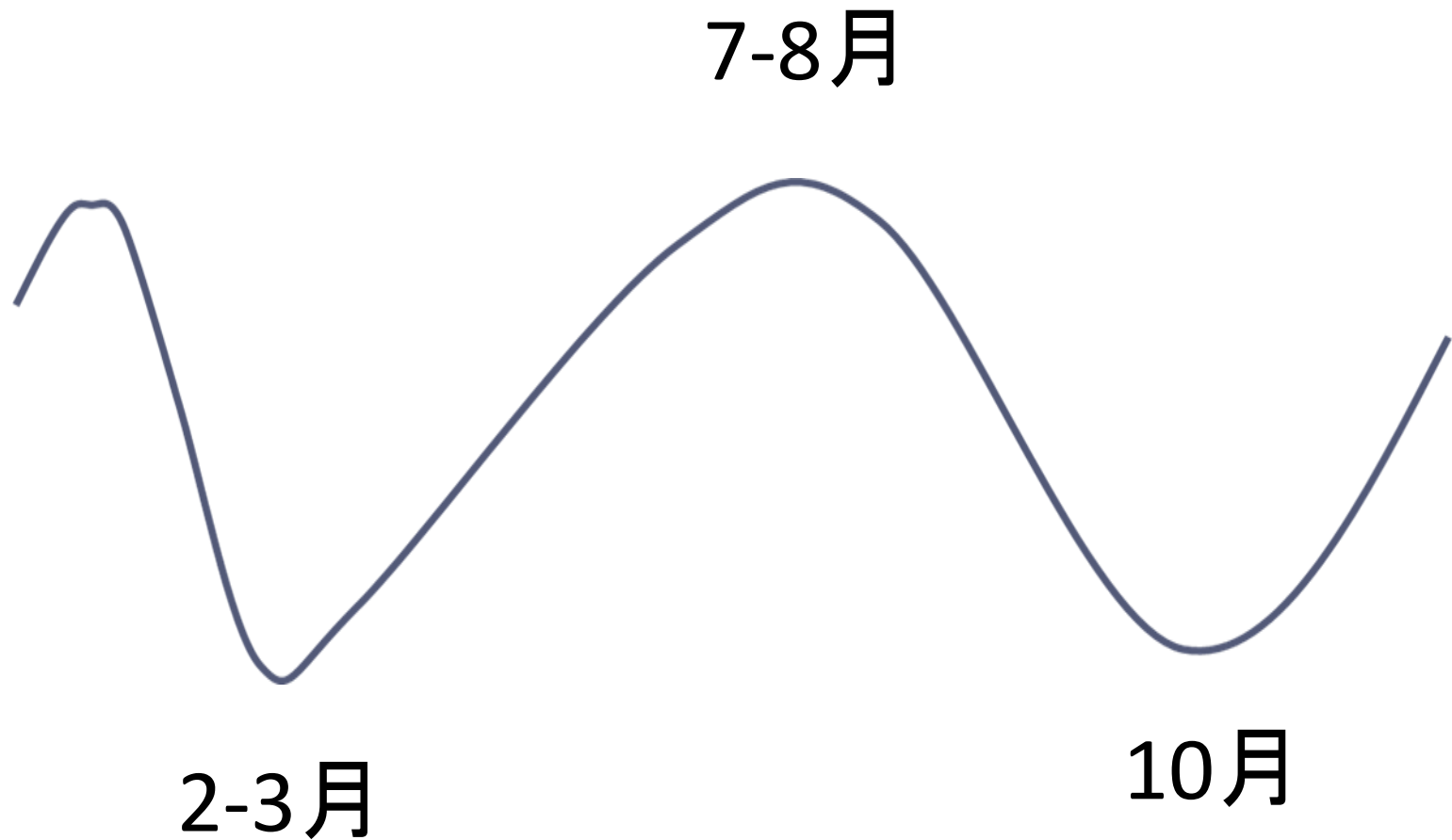
ファンダメンタルズのまとめ

- 材料に反応しているか
 - ⇒ 反応。それがトレンド方向 ⇒ テレンド継続
 - ⇒ 反応。しかしトレンドと反対方向 ⇒ 戻り・押し。内容によっては反転の可能性
- 材料に反応していない
 - ⇒ テレンド方向の材料 ⇒ すでに買われすぎの可能性。反転・反発の可能性あり
 - ⇒ テレンドと反対方向の材料 ⇒ まだトレンドが続く可能性が高い



ドル円の季節性

ドル円の季節性



2016年のドル円



2017年のドル円



2018年のドル円

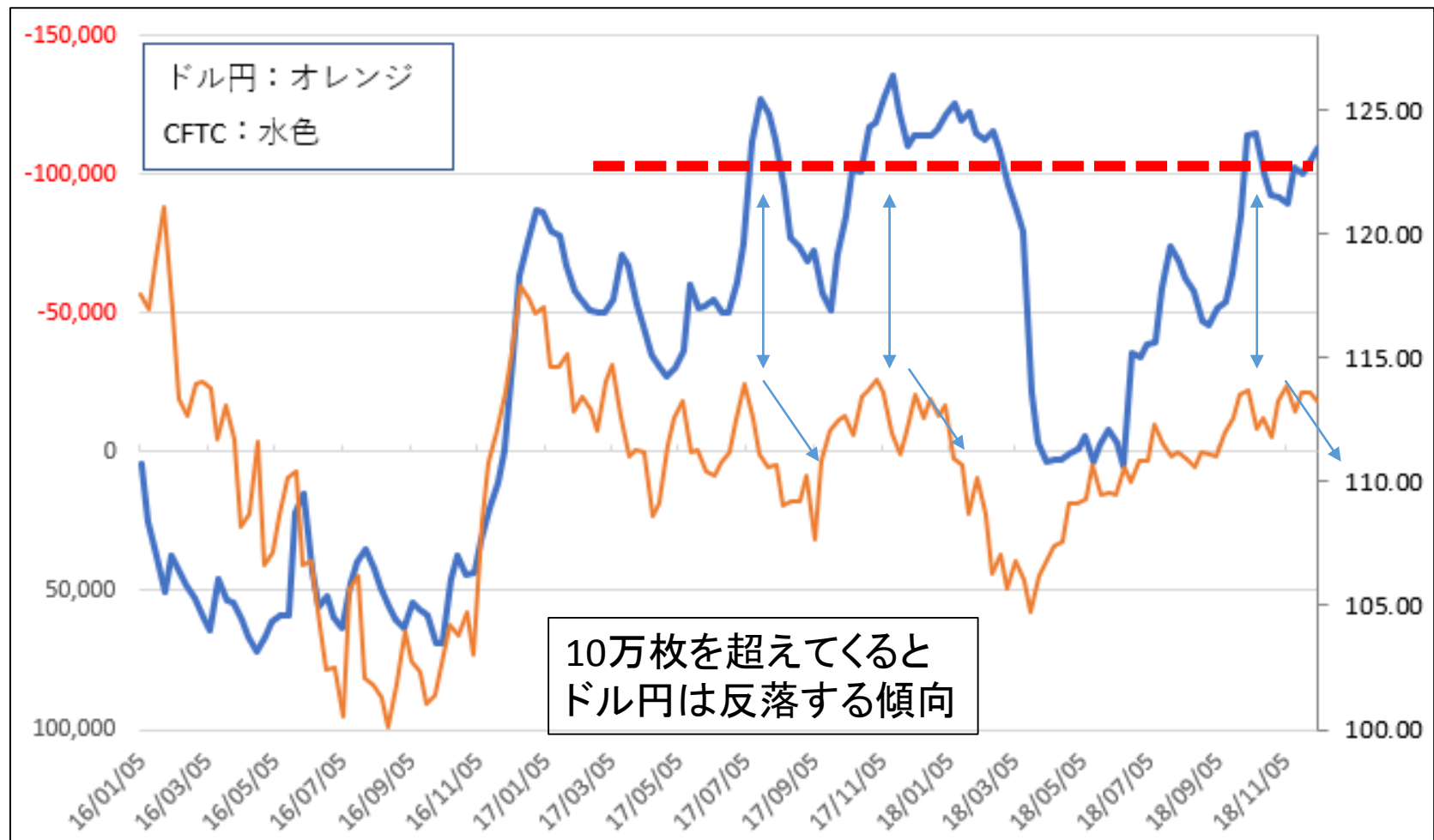


CFTC IMMポジション

CFTC IMMポジション

- 円売りが10万枚を超えてくると、それ以上の円安は難しくなる。円高へ推移する可能性を考えるべき
- ユーロは15万枚程度
- 他にもポンドやオージーなどもあるが、円とユーロほど参考にならない

ドル円とIMMポジションの円の推移



ドル円を売りやすいタイミング

IMMポジションが10万枚以上の円売りに偏る



季節性でドル円が下がりやすい時期



下がる可能性が高まる



テクニカル分析



使用しているテクニカル指標

- ローソク足
- サポート・レジスタンス・トレンドライン・チャネルライン
- 移動平均線 21日と200日
- ボリンジャーバンド 21日 $\pm 2\sigma$
- MACD 12-26-9
- RSI 9
- スローストキャスティクス 12-3-3
- などなど

サポート・レジスタンス ドル円の週足



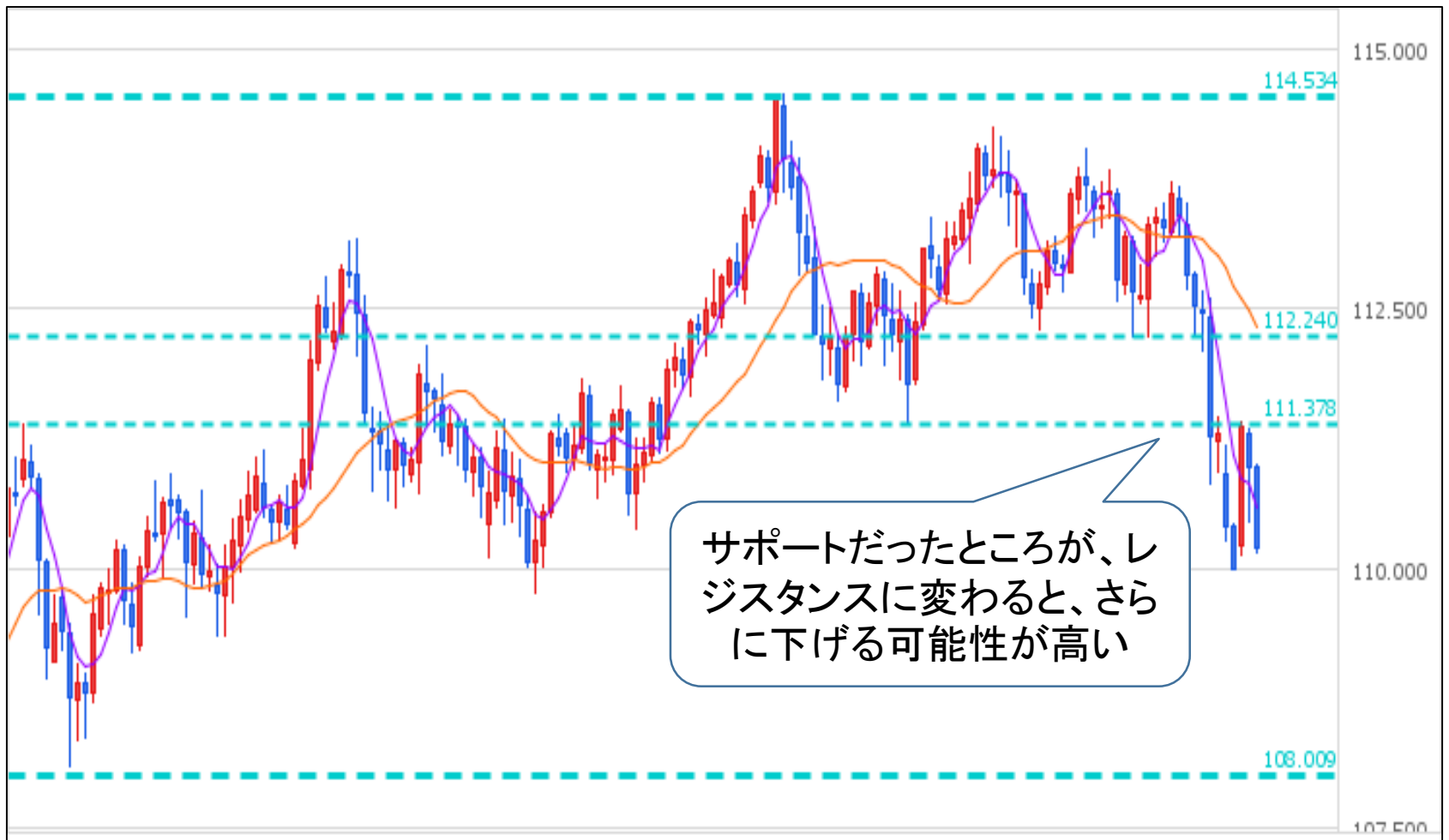
どれが重要なラインなのか

- 反転している回数
- 期間の長さ
- 出来高の多さ

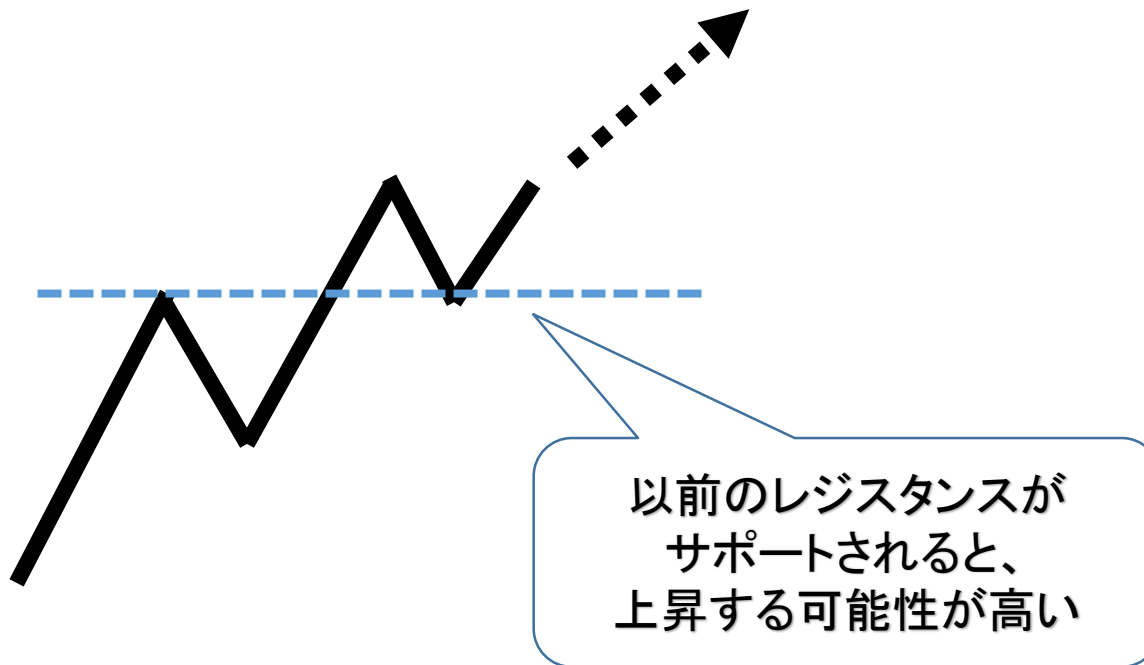
これらが多い程、重要なラインとなり、支持・抵抗が続くと考えなければいけない。

しかし、もしそれが抜けるようなことになれば、大きなトレンドが出る可能性が高いと判断すべき

サポート・レジスタンス ドル円の日足

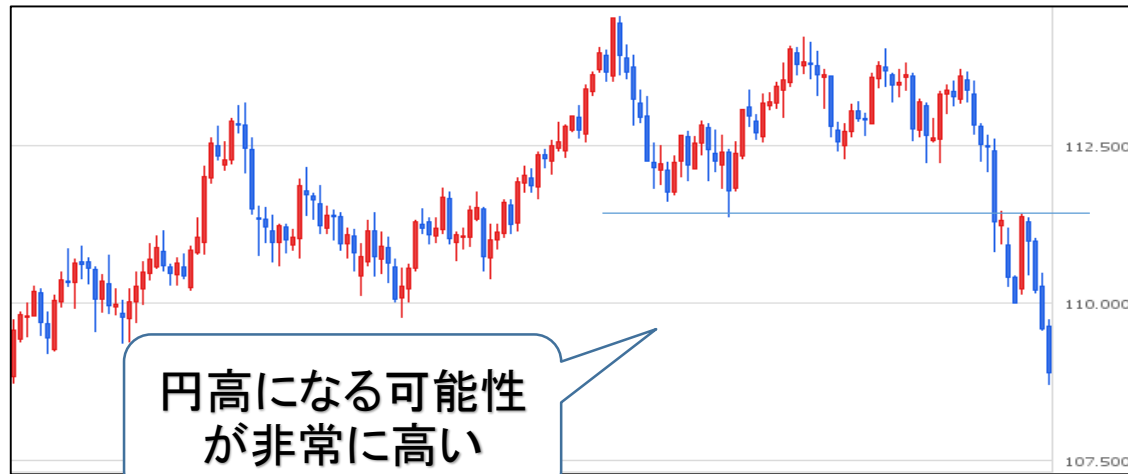


サポートとレジスタンスの切り替わり



切り替わりは非常に重要

ドル円の日足



豪ドル円の日足



<リスク開示>

このセミナーは、情報提供を目的としており、FX取引の勧誘を目的としたものではありません。また、実際の市場動向とは異なる可能性があり、断定的判断を提供するものでもありません。当該セミナーの内容を予告なく変更する場合があります。

当該セミナーの内容および資料のご利用によりお客様に損失が生じた場合であっても、当社および当該セミナーの講師（所属会社を含む。）は一切の責任を負いません。お取引につきましては、お客様ご自身の判断と責任において行っていただきますようお願い申し上げます。

なお、セミナーに関する著作権は、当社および作成者に属します。

お客様の私的使用目的以外での使用、他人への譲渡や販売または再配信等を行うことはできません。

<注意喚起>

店頭外国為替証拠金取引は、元本や利益を保証した金融商品ではなく、為替レートの変動等による損失発生可能性があります。さらに、レバレッジ効果（想定元本と比較して少額の資金で大きな取引ができる仕組み）や為替レートの変動等によって注文（ロスカット注文を含む）が約定しない場合等、元本を上回る損失発生の可能性があります。

特に、マイナー通貨（流動性の低い通貨）の取引をされる場合、元本以上の損失発生の可能性が高くなります。加えて、スワップポイント（通貨間の金利差調整額）においては通貨ペアやポジションの状態（売りまたは買い）によっては、受け取れる場合もあれば、支払わなければならない場合もあります。

当社は、インターネットを通じて店頭外国為替証拠金取引サービスをご提供しておりますので、お客様のパソコン・インターネット環境や当社のシステムに不具合が生じた場合等、取引ができなくなる可能性があります。また、お客様の取引の相手方は当社（相対取引）となっており、取引所取引とは異なりますので、契約締結前交付書面をよくお読みいただき、内容をご理解の上、ご自身の判断により取引を行っていただきますようお願いいたします。

商号：ヒロセ通商株式会社

業務内容：第一種金融商品取引業

登録番号：近畿財務局長（金商）第41号

加入協会：金融先物取引業協会会員番号1562